

「議員と話してみよう」小金井市議会による主権者教育 実施報告書

小金井市議会

1. 日 時 2024年2月8日(木) 1限目・2限目 8:45～10:35

2. 場 所 小金井市議会4階 本会議場

3. 対象者 2023年度特別授業のひとつとして選択した高校3年生
(申込者9名 当日参加者8名 ※体調不良により1名欠席)

4. 参加議員

〈議会運営委員会〉

委員長：岸田正義 副委員長：片山かおる

議 長：宮下 誠、副 議 長：森戸よう子

委 員：吹春やすたか、水谷たかこ、安田けいこ、水上洋志、小林正樹

〈議 員〉

議 員：清水がく、坂井えつ子、斎藤康夫

5. 事前の打ち合わせ等

- (1) 2023. 10. 16 正副委員長で担当先生を訪問、今年度実施に向けて意見交換
- (2) 2023. 10. 31 議会運営委員会にて開催日時を決定し、担当の先生に報告
- (3) 2023. 11. 22 担当の先生より特別授業にエントリー済との報告
- (4) 2023. 11. 24 議会運営委員会で確認した企画書案を担当の先生に送付
- (5) 2024. 1. 8 担当の先生より参加生徒が8名との報告
- (6) 2024. 1. 15 正副委員長他2名で担当の先生と企画について再協議
担当の先生より事前 web アンケート開始
- (7) 2024. 1. 22 議会運営委員会にて、開催場所を本会議場、企画内容を
「高校生模擬議会」に変更することを確認し、担当の先生に報告
- (8) 2024. 1. 26 非公式の協議会にて高校生模擬議会のテーマを決定
- (9) 2024. 2. 2 非公式の協議会にて実施内容の詳細を協議して決定
- (10) 2024. 2. 8 高校生模擬議会当日
担当の先生より事後 web アンケート開始

6. 当日の流れ

- 8 : 0 0 参加議員集合 ※先生と生徒は8 : 3 0 武蔵小金井駅集合
8 : 3 0 受付開始 (受付：坂井・斎藤) (記録撮影：吹春・清水)
8 : 5 0 開会 (司会：片山副委員長)
8 : 5 1 議長挨拶 (宮下)
8 : 5 3 アイスブレイク
(小金井市議会の特徴を2択クイズで説明：水谷・安田)
9 : 0 2 議会説明 (議会の役割と意思決定の流れを説明：岸田)
9 : 0 5 模擬議会 (概要は次項に記載)
1 0 : 0 3 生徒より感想 (司会：片山)
1 0 : 1 0 まとめ (議会の役割や仕事について総括：岸田)
1 0 : 1 3 副議長挨拶 (森戸)
1 0 : 1 5 写真撮影後、フリートーク
(時間のある生徒は議長室や事務局を見学)
1 0 : 3 0 解散

7. 模擬議会の概要

参加生徒への事前アンケートから、議会の仕組みやグループトーク、模擬議会の希望者が多かったことから、それらも含めた「高校生模擬議会」を実施することに決定し、テーマを『公立小中学校給食の無償化』として参加生徒が議員役となり、実際の議会進行と同様に議案上程から討論採決までを経験してもらうこととした。

【タイムテーブル】

議案上程 (1分) ▶ 議案説明 (5分) ▶ 質疑応答 (20分)
▶ グループトーク (20分) ▶ 意見発表 (10分) ▶ 採決 (2分)

【役割】

議長：宮下、議会事務局長：坂井、市長：岸田、教育長：森戸、
企画財政部長：片山、学校教育部長：水上、生徒補佐：小林・水谷・安田

【質疑応答】

議案資料・小金井市の財政状況・質問例を当日配布したが、それらに頼ることなく生徒1人1人が自主的に挙手して鋭い質問を展開し、行政役の議員が答弁

【グループトーク】

委員会付託に見立て、3名×3グループに分かれて議案に対する意見交換
(ファシリテーター①：小林・吹春、②：水谷・水上、③：安田・岸田)

【意見発表】

討論に見立て、グループごとに登壇して議案に対する賛否の意見発表

【採決】 起立採決を行い、賛成全員

8. 参加生徒の意見

【討論形式での意見発表】

第1グループ 1：自分は一応賛成です。理由としては先ほど国がやるべきことを市が出すのはどうか、みたいな反対意見があったと思うのですが、結局、国が動くのは遅いので、まず、市からやっていって、少しずつ広げて、国の重い腰を上げさせるためにもまず市がやるべきなんじゃないかなと思います。

第1グループ 2：自分も基本的には賛成です。反対意見として高齢者や障がい者の方のご支持が必要ということもあると思うのですが、結局、全額給付とかじゃなくするという手段もあるかもしれないし、それこそさっきの方が言ったように、国が少しずつ出してくれるのなら、だんだん使っていく予算が減るわけで、そしたらその分、受け付ける、相談センターが1億何千万円、とさっき言っていたので、それに少しずつ回せるよね、ということで長期的にやるという条件なら賛成です。

第1グループ 3：短期間だけやるなら、やらない方がマシ、みたいな意見もあると思うのですが、国も結構前向きだし、仮に国がやらなくなったとしても、たぶん全部負担しても5億円なので、小金井市が続けようと思えば続けられるのではないかなと思います。やれると思います。

第2グループ 1：私たちは3人とも給食の無償化については賛成です。まず、憲法で義務教育について全て無償であるべき、というのがあって、給食というのも義務教育の一環であると思うので、実現が可能なのであれば、しっかり義務教育の一環として無償化をするべきではないかなと考えています。

第2グループ 2：私も賛成なのですが、公立学校に通う子の中には、給食が食料のあてになっているとか、土日はあまり所得の関係で食べられない子とかもいると思うので、そうした子たちの生きるための場所にもなりうると思うので、そうした面で私は賛成だと考えております。

第2グループ 3：私も賛成で、地域の差が出ているのはまず良くないということで、他の市がやってないからやってないとか足踏みするのが良くないと思うので、まず小金井市から始めて、どんどん広がっていけばいいのかなと思っています。

第3グループ 1：今回の無償化には賛成かなと考えています。食育の一環として、今まで以上に食べ物に関して栄養バランスの面からも地域の特産品でまとめるなどして、生徒や児童の興味を食に向け、将来の健康にも貢献できるような給食を作っていくためには、本人たちが気兼ねなく給食を食べられるような状況を作り出してあげるのは効果的かなと考えました。

第3グループ 2：私も給食費の無償化には賛成です。私は、今日本は少子化しているので、少しでも保護者の負担とかを、子どもが美味しい給食を食べて楽しく生きられるように、給食費の無償化をするのはとてもいいと思いました。

【授業を受けての感想】

生徒A：失礼かもしれないけど、議会はよく居眠りしている人がいるとか、そういうニュースを見ていたので、今回、実際、本当は市民のことをよく考えてくださっているのだなということがわかってよかったです。ありがとうございました。

生徒B：今回、給食のことについてやって、最初は所得の低い人は払わなくていいのではないかと考えていたのですが、憲法のこととかを踏まえると、やっぱり無償化していくべきなのかなと考えたりして、感覚的なことや表面的なことも大事かもしれないですけど、憲法とか法律とか、深いところまで考えると意見が変わるので、そのことはしっかり学んで、こういう場に参加できるといいのかなと思いました。

生徒C：今日はありがとうございました。今回の議論は義務教育という国民がほとんどの人が経験することだったので結構賛成に偏るのかなと思ったのですが、すごく極端な話だと、例えば原発受け入れ、とか、すごくシビアな問題だと、どちらの正義も対立して結論が出ないこともあると思うので、そうしたのも経験できたら面白いかなと思いました。

生徒D：こういう給食っていうすごく身近でパッと見簡単そうな話題でも、お金が絡んだり、人の心理が絡むと、お爺さんおばあちゃんは、ガキに金払うの嫌やな、そういうふうになるのとか、いろんな側面があるなというので、議員さんって案外大変なのだな、って思いました。

生徒E：地元の議員体験に参加したことがあるのですが、その時は完全にセリフが決まっていて、それを読むだけという体験だったので、自分で考えて参加できて身についてよかったです。ありがとうございました。

生徒F：議員が議論しているとは知っていたのですが、中でどういう感じで議論しているのかはわからなくて、今回の議論は結構近いのではないかと思います。

生徒G：いまいち議員がどういうことをやっているのかというのは、イメージがなかったのですが、模擬議会ということで意外と最初の質疑の時間とかに笑いがあるというか柔らかい雰囲気、もしかしたら普段からこんな感じなのかなと思いました。

生徒H：本日はありがとうございました。私は今日の議題の賛否について考えている時に、例えば、今日の給食費の無償化の件だと、その分の予算を他の何かを削らなければいけないということで、議会が選択の場だなということを感じました。

9. アンケート結果

授業の前と後の2回、参加した生徒さんにアンケート調査を行いました。議員に対する印象について、授業を受ける前は「何をしているかよくわからない」「寝ている」などネガティブな印象が強い傾向でしたが、事後アンケートの自由記述では、「意外と堅苦しくない」「丁寧に説明してくれた」「市議会について伝えようという工夫と熱意を感じた」と、印象が変わった様子がわかります。授業はどうだったかという設問に一番多かった回答は7人中5人が「とても良かったので後輩にも勧めたい」2人が「良かった」と大変好評でした。自由記述では、「審議の流れを経験できて面白かった」「議員一人一人と話ができて嬉しかった」「本物の議会を見られて良かった」という感想のほか、模擬議会終了後に議長室を見学したり、議員に裏話を聞いたり、現場での体験が有意義に感じたという感想が多く寄せられました。

表タイトル：議員に対する印象は？（回答数7人） ※自由記述は別紙参照

授業を受ける前の印象		授業を受けた後の印象	
とても良い	0人	とても良い	2人
良い	1人	良い	4人
どちらとも言えない	4人	どちらとも言えない	1人
悪い	2人	悪い	0人

10. 議会が用意したもの

議案、議案資料（※別紙参照）、回答シート、市議会ガイドブック（各10部）、スライド（※別紙参照）、氏名柱、筆記具、マジック、模造紙、付箋、ペン、議長原稿、タイムスケジュール

※ 議員から借用

PC：水谷 ネームプレート・ビデオ：小林 カメラ：吹春、坂井

※事務局から借用

プロジェクター（接続用ケーブル含む）、スクリーン

11. 議員の振り返り

(1) 良かった点

- ・テンポよく進行できた
- ・参加人数の少なさとフィールドが議会側にあったこと
- ・小金井市議会の自由闊達に議論できる議会の一端が伝えられた
- ・他の学校などでも実施できる良い事例となった
- ・生徒さんの積極性にも助けられ、大変に意義深い時間となった

- ・予想以上に参加生徒が積極的に質疑や発表を行い良かった
 - ・議会を身近に感じてもらえた
 - ・地方議会の役割を理解し、関心を持っていただく良い機会となった
 - ・身近で理解しやすいテーマだったため議論しやすかった
 - ・模擬議会や意見交換と複数の実施方法のベースとなる授業のパターンを複数用意することが可能であることがわかって良かった
 - ・初めての経験だろうと思うが、堂々と発言していて感心した
 - ・純粋な心で物事を正面から捉えて議員より鋭い質問をしていた
 - ・少人数で行う主権者教育として提供できる項目に模擬議会を加えて良い
 - ・議長室や議長応接室での懇談がとても良い時間となった
 - ・実際に本会議場で意思決定の流れを体感してもらえた
- (2) 反省点
- ・グループトークで議員が話し過ぎる傾向を感じた
 - ・動画は後ろから固定で撮るのでは意味がない
 - ・本会議場はスペースがなく、気持ちをほぐす身体的な動作ができなかった
 - ・開会が10分くらい遅れた
 - ・事前アンケートの回答が少なかった
- (3) 今後に向けて
- ・議員全員がファシリテーション研修を受けてスキルを身に着けると良い
 - ・質疑は参加者みんなの顔が見える所で安心して話せるように、委員会室での実施が望ましい
 - ・担当する議員が集まって打合せする機会が持てると良い
 - ・担当の先生の意見も残せると良い
 - ・事前・事後アンケートの内容について、「市議会の役割への理解」「市議会と市政への関心」が深まったのか、市議会としての主権者教育の狙いの達成状況がわかるようにする。また、アンケートに回答してもらう仕掛けや時間的制約も含めて再度検討する必要がある
 - ・グループトークは進行係と記録係の役割をもう少し明確にした方が良い
 - ・テーマの設定やアイスブレイクの時間をより効果のあるものにする配慮などの工夫の余地がある
 - ・企画から開催まで2か月はあった方が良い
 - ・議会報告会と兼用できる備品は議会費で用意した方が良い
 - ・学校以外で開催する場合は、到着してからトイレ等にいけるよう余裕を持った集合時間とすることが望ましい
 - ・もっと賛否が分かれ議論ができるテーマや条件設定を検討する
 - ・模擬議会での質疑や討論など議事録を起こせると今後の取組みの参考となるのではないかと
 - ・Q&Aや議会説明の際に、主権者教育の本来の意味について議会側で振り返って検討してもよい

12. 当日の様子（写真） ※別紙参照